ケーブル外被把持型SCコネクタ取扱説明書

住友電気工業(株)

ETK1223141

コネクタ品種	対応ケーブル径(mm)	
	縦径	横径
e-SC-SPC<SM>-025S-F-T-T	1.5～2.2	2.4～3.3
e-SC-SPC<SM>-025M-F-T-T		1.8～2.15 or 2.4～3.3

⚠ 安全にお使い頂くために

本製品は安全性を充分に考慮して設計しています。しかし間違った使い方をすると、事故や製品の故障につながる恐れがあります。事故を防ぎ、安全にお使い頂くために次のことを必ずお守り下さい。

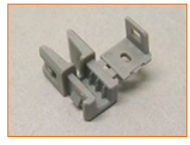
★光ファイバおよび光ファイバ屑は小さく、先端が鋭利です。指に刺す、目に入る、と怪我をする恐れがありますので、取り扱いには十分注意して下さい。作業中は**安全メガネを着用**して下さい。

★コネクタ端面や光ファイバ端面を**のぞき込まない**で下さい。強い通信光が出ている場合があり、目を傷つける恐れがあります。通信光は目には見えませんので十分注意して下さい。

★高所での作業の際には、組立工具を落とさぬ様にご注意下さい。(リストストラップ等をご使用下さい。)

構成品

・コネクタ(クサビ組付):本体
  e-SC-SPC<SM>-025S-F-T-T (ケーブルホルダ[S])
  e-SC-SPC<SM>-025M-F-T-T (ケーブルホルダ[M])
・ケーブルホルダ:本体構成部品
・ガイドレール:添付治具



ケーブルホルダ[S]
(スペーサ無し)

⚠ 必ずお読み下さい

①組立方法を誤ると本来の性能が得られない場合があります。**本説明書をよくお読みになって**からご使用下さい。

②本製品はチリ・ホコリが大敵です。コネクタはご使用の**直前に開封する**様お願いいたします。

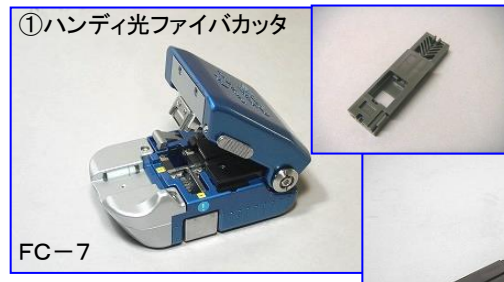
③本製品は切断面により特性が大きく変わります。良好な切断特性を有するカッタを使用下さい。

④コネクタへの**ファイバ挿入はゆっくり**と行って下さい。乱雑に挿入した場合、ファイバが破損して工事不良につながる可能性があります。折れたファイバが飛散する恐れもあります。

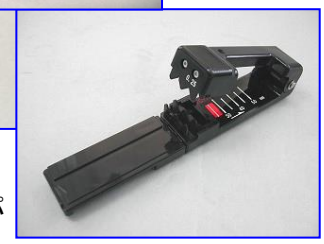
⑤異物の混入による光損失増を防ぐため、ダストキャップはコネクタを**接続するまで外さない**で下さい。

⑥コネクタ内部には適量の屈折率整合剤を充填しております。コネクタへの**ファイバ挿入を2回以上行わない**で下さい。

組立工具



②FAコネクタ用
フォルダ



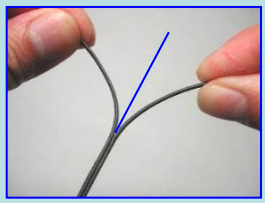
③FAコネクタ用
メカニカルストリッパ

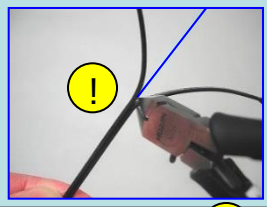
本コネクタの組立には、左記構成品の他に、上記工具が必要となります。予めご準備下さい。

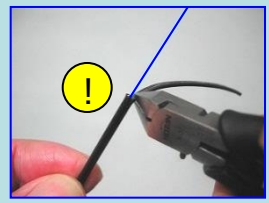
ケーブル端末処理手順

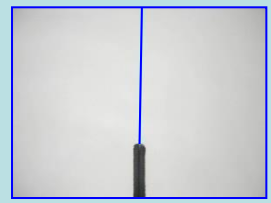
(図は例として細径ケーブルで表現しています)

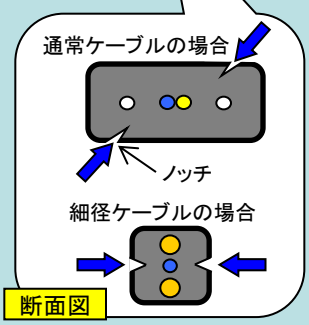
①ケーブル先端に切れ目を入れる　②外被を引き裂く　③外被を切断する　④逆側の外被を切断する





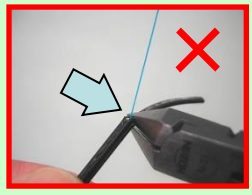




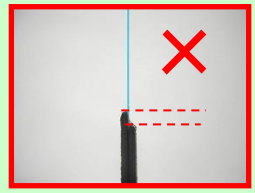


※ニッパで外被を切断する際の御注意点 !

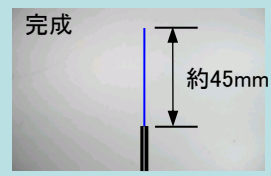
1, 心線を傷つけないようにして下さい
(断線させる恐れがあります)



2, ケーブルの切り口に段差をつけないようにして下さい



コネクタ取り付け後、ケーブル把持力が弱くなる場合があります。



［お問い合わせ先］　住友電気工業株式会社 光機器事業部
TEL (045) 853-7225　FAX (045) 851-1286

Copyright © 2013 Sumitomo Electric Industries, LTD.

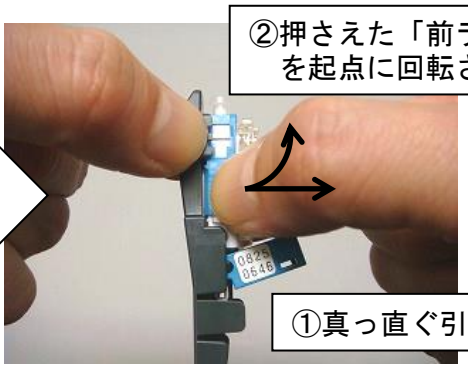
SUMITOMO ELECTRIC

★e－SCコネクタをお使いのお客様へ

～ ファイバを挿入する前に ～

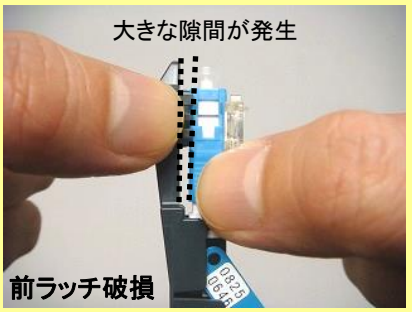
ファイバをコネクタへ挿入する前に、「ガイドレールのコネクタを押さえるラッチ部に外傷・破損がないか」、「ガイドレールに コネクタがしっかりセットされているか」をご確認下さい。
もし不具合が生じている場合、うまく組立てられない可能性があります。

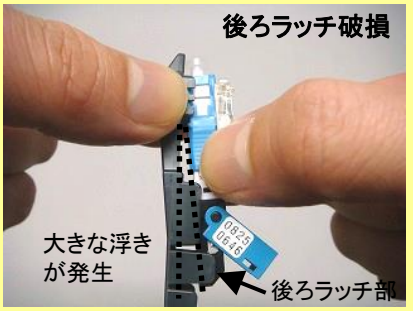
ラッチ部の外傷・破損確認



以下の場合は、ガイドレールに不具合のある可能性があります。

①前ラッチに引っ掛からず
“大きな隙間”が発生した場合

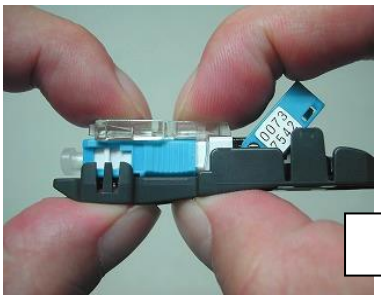


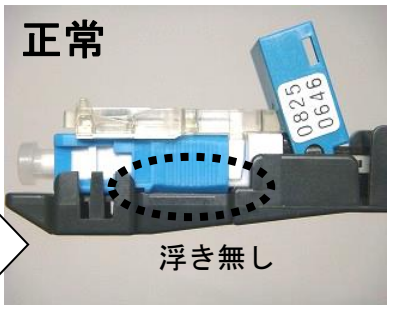


②後ろラッチに引っ掛からず
“大きな浮き”が発生した場合

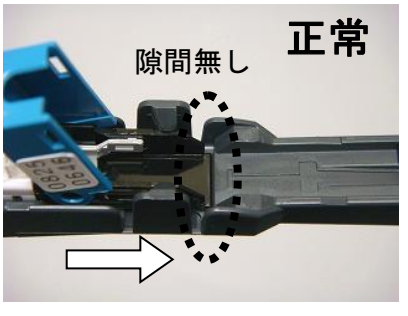
不具合のあるガイドレールは使用しないようにして下さい。

コネクタセット状態確認





①押し込んでコネクタ
の浮きをなくす



②コネクタ寄せて隙間をなくす

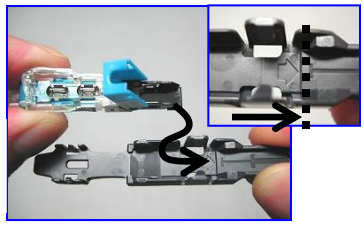
Copyright © 2013 Sumitomo Electric Industries, LTD.

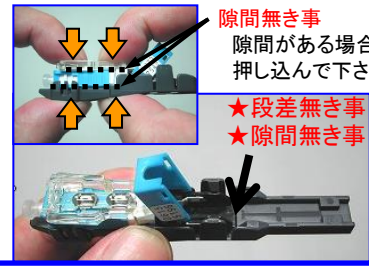
ケーブル外被把持型SCコネクタ組立手順

住友電気工業(株)

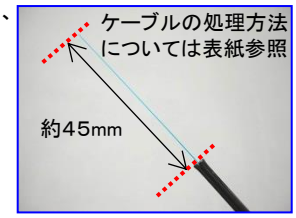
【1】インシュロック除去

【2】コネクタをガイドレールにセット



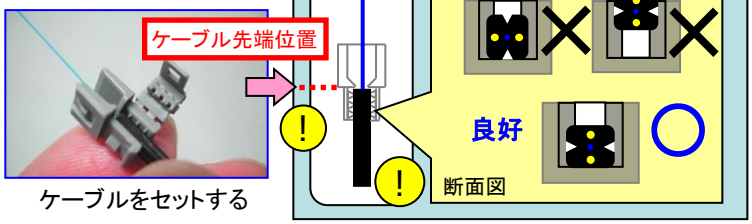


【3】ケーブル端末処理



【4】ケーブルホルダセット

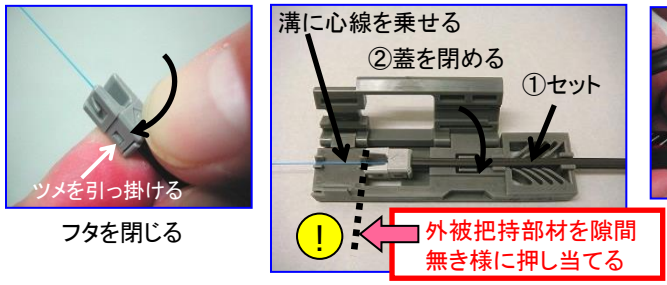
ケーブル横径1.8～2.15mmの場合



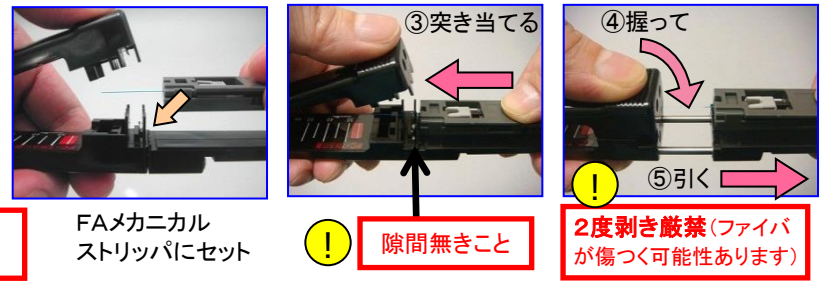
ケーブル横径2.4～3.3mmの場合

※ケーブルホルダ[S]の場合は、最初からスペーサが切断されています

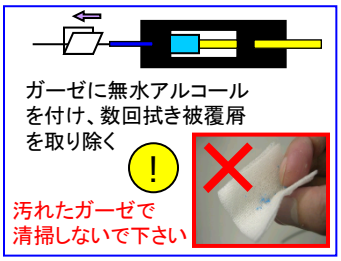
【5】FAフォルダにセット（重要）



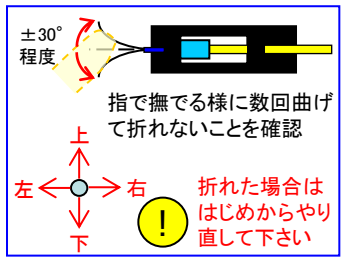
【6】心線外被除去



【7】ファイバ清掃



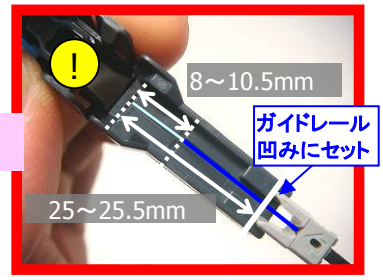
【8】スクリーニング



【9】ファイバカット

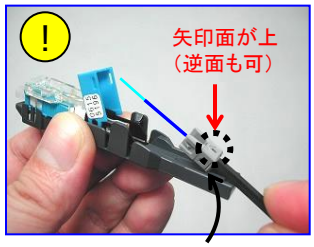
※当社製 FC-7使用の場合

【10】カット寸法確認（重要）



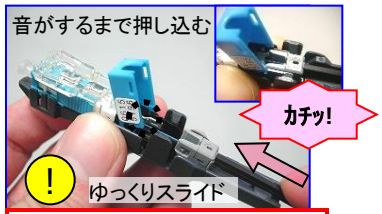
外れてる場合は【3】項よりやり直し下さい

【11】ファイバ挿入①



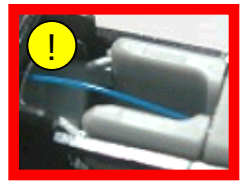
ケーブルホルダをガイドレール後端に乗せる

【12】ファイバ挿入②



ファイバ先端が穴に確実に挿入できる様、注意しながらマルチホルダを前進させる

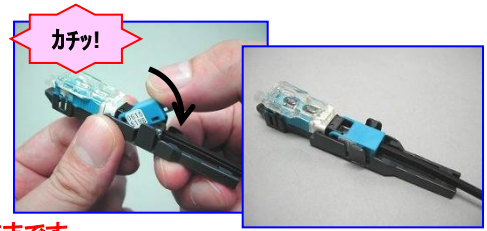
【13】ファイバたわみ確認（重要）



ファイバのたわみは残ったままです

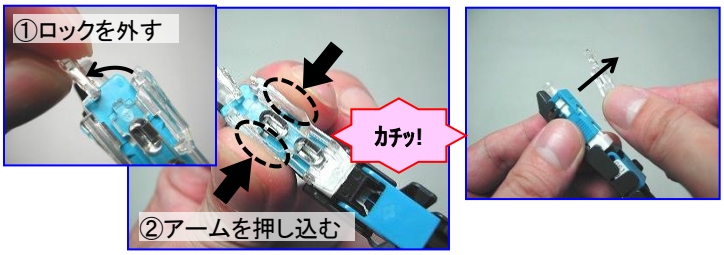
（たわみが大きく、ホルダより飛び出ている場合は、新しいコネクタで最初からやり直して下さい）

【14】カバーを閉じる

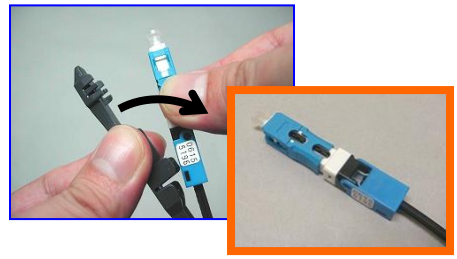


（補足）【15】くさび抜去の後に、カバーを閉じても構いません

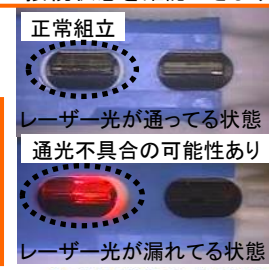
【15】くさび抜去



【16】ガイドレール取り外し



レーザー光で接続状態を確認できます



Copyright © 2013 Sumitomo Electric Industries, LTD.

SUMITOMO ELECTRIC